

# 職場の奮闘と期待に反する「20人勸」期末手当引き下げ

## ◎職員 の奮闘に 応え、地域経済を支えるためにも賃上げを

## ◎期末手当の削減は、会計年度任用職員の処遇改善に逆行

## ◎職場の負担軽減へ人員増を強く要求、人材確保へ初任給改善を



■11月16日、愛媛県人事委員会は、県会議長・県知事に対して「報告」を行いました。

※「給与報告」のポイント(抜粋)

- (1) 官民較差… △0.01%・△30円(民間給与359,714円、県職員給与359,744円)
- (2) 改定方針… 民間給与との差は30円(0.01%)であり、両者はほぼ均衡している。本年の較差の状況、人事院による給与報告、他の都道府県の状況等を踏まえ、県人事委員会は、本年の県職員の給与について、本県における公民較差が極めて小さいことから、月例給(給料表及び諸手当)の改定は行わないことが適当と判断。

■県職員も国同様に若年層の人数が増加したこと等により、昨年に比べ平均給与月額は減少。

□県職員と民間企業との初任給比較 ※県職員初任給は県内民間企業初任給平均を下回っており、その格差が拡大している。

(県人事委員会データ) 県職員と民間企業との初任給比較(上段H31年4月現在、下段R2年4月現在)

【大卒】民間195,686円・県職員188,136円(較差7,550円) 【高卒】民間160,411円・県職員153,765円(較差6,646円)

【大卒】民間198,719円・県職員189,643円(較差9,076円) 【高卒】民間167,975円・県職員155,674円(較差12,301円)



### 《県市町振興課要請》

11月26日、県本部は8単組9人が参加して「県市町振興課」へ要請。県側は担当課長ら9人が対応。●市町振興課回答、○自治労連(やりとり)一部抜粋、文責:県本部

①採用者の学歴・社会人経験を適切に評価した初任給設定を。●初任給は各自自治体の規則で定められており、実施する試験はどのような人材を必要とするか、国家公務員制度を基本とし、民間との均衡を考慮して決定。□一部自治体では上級採用を設定せず初級採用のみを募集で、大卒者も初級採用に応募せざるをえず、

金制度活用も伝えている。□感染リスクに対する緊張感がトーンダウンしており職員感染も想定した対応策を求めたい。④労働時間設定は、勤務する「職」として必要な時間とすること。●労働時間の設定は業務の量に応じた時間設定の必要があり、単に財政上の制約のみを理由に短時間の勤務時間設定は法の趣旨にそぐわない。パート会計年度任用職員が慢性的に

時間外労働している場合などは、適切な任用を助言する。□保育園でのパート任用だと園児に対応する保育士が1日に何度も変わる。こうした状況が適切な時間設定と言えるか疑問が残る。⑤常勤的非常勤の退職手当は勤務期間を通算した退職手当支給を。●退職手当は、各市町の条例で定め運用されている。□会計年度任用職員制度スタート後も条例上の変更はない。支給要件を満たせば該当する勤務期間は通算される。各市町の適切な判断で運用と理解。□市町総合事務組合の条例では「互換対象」となっているが、自治体独自の判断で退職手当を請求しない事例がある。⑥期末手当支給要件は総務省マニュアルが示す基準とすること。●期末手当の支給要件は職務給原則・常勤職員との均衡を考慮して決定される。会計年度職員の取扱いは、人事院勧告など、11月6日には総務副大臣通知を基に、市町の判断で適切な決定を求めている。



### 【四国ブロック共済研修会】

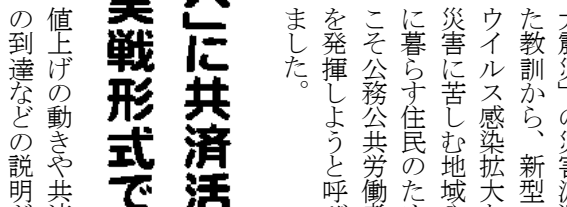
11月29日、前日の四国ブロック定期総会に続いて「自治労連共済実務研修会」をブロック主催として初めて開催。四国4県と共済本部から15単組24人が参加。午前は久保智さん(四国ろうきん高知支店)から「現役世代から準備しておくマネープラン」と題して講演。続いて清水一成さん(自治労連共済副理事長)から「自治労連共済を生かした拡大運動」について基調報告。自然災害の頻発での民間損保の保険料

学歴加算が国基準より抑制されている。大卒の人材を求めるなら上級採用を設定するよう助言を。②職員の勤務時間は定時退庁を原則に計画的な職員採用を行うこと。●各市町の定員管理計画にもとづき職員数の合理化を図る。近年、一般職を中心に職員定数が増加の地方公共団体もある。③マスクや消毒液などの職員の自己調達の状況を早急に改善すること。●衛生用品などの備品は各自自治体の備蓄を有効活用するよう伝えている。医療現場などへ優先配布し在庫の原状回復などは基本的に在るべきである。

時間外労働している場合などは、適切な任用を助言する。□保育園でのパート任用だと園児に対応する保育士が1日に何度も変わる。こうした状況が適切な時間設定と言えるか疑問が残る。⑤常勤的非常勤の退職手当は勤務期間を通算した退職手当支給を。●退職手当は、各市町の条例で定め運用されている。□会計年度任用職員制度スタート後も条例上の変更はない。支給要件を満たせば該当する勤務期間は通算される。各市町の適切な判断で運用と理解。□市町総合事務組合の条例では「互換対象」となっているが、自治体独自の判断で退職手当を請求しない事例がある。⑥期末手当支給要件は総務省マニュアルが示す基準とすること。●期末手当の支給要件は職務給原則・常勤職員との均衡を考慮して決定される。会計年度職員の取扱いは、人事院勧告など、11月6日には総務副大臣通知を基に、市町の判断で適切な決定を求めている。

11月28日、自治労連四国ブロック「定期総会」に58人が参加。午前は「事前会議」を開催し、①青年部総会14人、②女性部総会8人、③現業評総会8人、④町村評総会7人、⑤医療介護交流会6人、⑥保育交流会4人、

11月29日、前日の四国ブロック定期総会に続いて「自治労連共済実務研修会」をブロック主催として初めて開催。四国4県と共済本部から15単組24人が参加。午前は久保智さん(四国ろうきん高知支店)から「現役世代から準備しておくマネープラン」と題して講演。続いて清水一成さん(自治労連共済副理事長)から「自治労連共済を生かした拡大運動」について基調報告。自然災害の頻発での民間損保の保険料



### 【四国ブロック総会】

⑦組織強化拡大交流会12人に分かれて交流。■午後の《労働学校》では「コロナ禍のもと、もめられる自治体、公務員が労働者の役割とは」のテーマで、佐賀達也さん(自治労連中央執行委員)が講演。名古屋水道で働く自治体労働者として大きなターニングポイントとなった「東海豪雨災害」の対応や「東日本大震災」の災害派遣で得た教訓から、新型コロナウイルス感染症拡大という災害に苦しむ地域やそこに暮らす住民のために今こそ公務員労働者の力を発揮しようと呼びかけました。

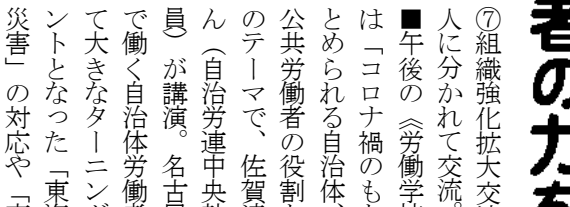
11月26日、県本部は8単組9人が参加して「県市町振興課」へ要請。県側は担当課長ら9人が対応。●市町振興課回答、○自治労連(やりとり)一部抜粋、文責:県本部

①採用者の学歴・社会人経験を適切に評価した初任給設定を。●初任給は各自自治体の規則で定められており、実施する試験はどのような人材を必要とするか、国家公務員制度を基本とし、民間との均衡を考慮して決定。□一部自治体では上級採用を設定せず初級採用のみを募集で、大卒者も初級採用に応募せざるをえず、

金制度活用も伝えている。□感染リスクに対する緊張感がトーンダウンしており職員感染も想定した対応策を求めたい。④労働時間設定は、勤務する「職」として必要な時間とすること。●労働時間の設定は業務の量に応じた時間設定の必要があり、単に財政上の制約のみを理由に短時間の勤務時間設定は法の趣旨にそぐわない。パート会計年度任用職員が慢性的に

時間外労働している場合などは、適切な任用を助言する。□保育園でのパート任用だと園児に対応する保育士が1日に何度も変わる。こうした状況が適切な時間設定と言えるか疑問が残る。⑤常勤的非常勤の退職手当は勤務期間を通算した退職手当支給を。●退職手当は、各市町の条例で定め運用されている。□会計年度任用職員制度スタート後も条例上の変更はない。支給要件を満たせば該当する勤務期間は通算される。各市町の適切な判断で運用と理解。□市町総合事務組合の条例では「互換対象」となっているが、自治体独自の判断で退職手当を請求しない事例がある。⑥期末手当支給要件は総務省マニュアルが示す基準とすること。●期末手当の支給要件は職務給原則・常勤職員との均衡を考慮して決定される。会計年度職員の取扱いは、人事院勧告など、11月6日には総務副大臣通知を基に、市町の判断で適切な決定を求めている。

11月28日、自治労連四国ブロック「定期総会」に58人が参加。午前は「事前会議」を開催し、①青年部総会14人、②女性部総会8人、③現業評総会8人、④町村評総会7人、⑤医療介護交流会6人、⑥保育交流会4人、



### 【四国ブロック共済研修会】

11月29日、前日の四国ブロック定期総会に続いて「自治労連共済実務研修会」をブロック主催として初めて開催。四国4県と共済本部から15単組24人が参加。午前は久保智さん(四国ろうきん高知支店)から「現役世代から準備しておくマネープラン」と題して講演。続いて清水一成さん(自治労連共済副理事長)から「自治労連共済を生かした拡大運動」について基調報告。自然災害の頻発での民間損保の保険料

自治労連愛媛

第527号

発行所  
自治労連愛媛県本部  
愛媛県松山市1丁目10-3  
電話(089)931-7314  
FAX(089)938-1849  
johms@stage.ocn.ne.jp  
発行人 高尾 正博  
編集人 丸尾 正博

(この日の発行部数は約1,000部です)

日程

【12月】

- 18 県公務員共闘定期総会
- 19 自治労連第33回組織集會
- 20 県本部女性部定期大会
- 県本部保育部会幹事会
- 25 県本部現業評要請

【1月】

- 8 県本部拡大執行委員会・単組代表者会議
- 愛媛労連春闘スタート集會
- 12 新春宣伝行動
- 13 久万高原町職執行委員会
- 21 伊予市職執行委員会
- 宇和島市職連集會
- 22 自治労連全国代表者会議
- 30 愛媛労連中央委員会

【2月】

- 6 非正規公共労働者全国交流集會(web)
- 13 県本部2021中央委員会(県本部)
- 15 愛媛労連春闘キャラバン(~3/5)

## 「コロナに負けず、今こそ公務員公共労働者の力を発揮しよう」

11月28日、自治労連四国ブロック「定期総会」に58人が参加。午前は「事前会議」を開催し、①青年部総会14人、②女性部総会8人、③現業評総会8人、④町村評総会7人、⑤医療介護交流会6人、⑥保育交流会4人、

⑦組織強化拡大交流会12人に分かれて交流。■午後の《労働学校》では「コロナ禍のもと、もめられる自治体、公務員が労働者の役割とは」のテーマで、佐賀達也さん(自治労連中央執行委員)が講演。名古屋水道で働く自治体労働者として大きなターニングポイントとなった「東海豪雨災害」の対応や「東日本大震災」の災害派遣で得た教訓から、新型コロナウイルス感染症拡大という災害に苦しむ地域やそこに暮らす住民のために今こそ公務員労働者の力を発揮しようと呼びかけました。

■「組織強化拡大」に共済活用を事例想定から実践形式で学ぶ

11月29日、前日の四国ブロック定期総会に続いて「自治労連共済実務研修会」をブロック主催として初めて開催。四国4県と共済本部から15単組24人が参加。午前は久保智さん(四国ろうきん高知支店)から「現役世代から準備しておくマネープラン」と題して講演。続いて清水一成さん(自治労連共済副理事長)から「自治労連共済を生かした拡大運動」について基調報告。自然災害の頻発での民間損保の保険料

値上げの動きや共済活動の到達などの説明があり、次期拡大運動で「春の新採入に向けた拡大促進措置として新共済プレゼントを予定。単組の強化拡大に位置づけ大いに活用を」と呼びかけました。午後は、「共済実践シミュレーション」として、組合員から自治労連共済の相談を想定した各種申込用紙の記載方法を学びました。参加者は2人1組のペアとなり出題事例に基づいて相談しながら実際の申請用紙に記入。出題は組合事務所でのやり取りを守劇で実演。書類記載が終わると設問ごとに打越さん(共済本部書記)が解答と一緒に「共済のびき」を参照しながら解説しました。





**【西生計費原則での改善要求を！】**

西条市職労は11月12日賃金学習会を開催し11人が参加。講師に高橋靖さん(新居浜市職労元委員長)を招いて「賃金の基本原則」「給与明細の見方」などを学習。高橋さんは「公務員の給与は条例主義で決まっております。誰でもわかるもの」と説明。また「職員の給与は



**【津島吉田】コロナ禍で大変だからこそ職員目線での要求活動を！**

津島吉田病院局労組は11月13日、定期大会を開催。例年の全組合員参加対象方式から、密を避けるため委任状と職場代表者による参加へと変更し20人が参加。経過報告に続く方針提案では石村書記長から「PCR検査の拡充や衛生用品確保、医療従事者への危険手当の改善など、冬場に向けて



**【今治水道】市民に喜ばれる水道事業 皆加入し支える組合めざす**

今治水道労組は11月20日、定期大会を開催し23人(来賓含む)が参加。活動経過では、今年度の改善事項として「災害応急作業手当」「用地交渉手当」の新設や引き続き時間外勤務する場合の17時15分開始を確認。活動方針では、①市民に喜ば



**《みかんボランティア》西日本豪雨災害から今年で3年連続のボランティア活動**

11月14日、愛媛労連は「みかんボランティア」をよびかけ、17人が参加しました。2年前の西日本豪雨災害で被災した宇和島市吉田町への災害支援の一環として、愛媛労連でバスを貸し切り、3つの班に分かれて農家さんのみかん畑で収穫作業



**【伊予】今年も実施！「超勤実態調査」お菓子渡し和やか笑顔で対話に**

伊予市職労は11月12日「長時間労働調査」を実施。1回目は18時時点での時間外調査を開始。役員15人が手分けして各フロアを回り、管理職を含め残業中職員を確認しながら、残っている職員に「アンケート」とお菓子を手渡しました。その



**【医療介護】総会后初の幹事会。病院・介護の状況交流、アンケート学習会要望も**

医療介護評は12月5日、組7人の参加で開催。総会后初の幹事会を6単会以降の活動報告に続いて、単組のとりくみでは、2交代勤務試行などの状況と課題、職場でのマスクの支給状況、感染防止対策での面会制限継続と対応の困難、外来患者へのPCR検査事例の発生などについて交流しました。また、会計年度職員について「元々一時金を支給する代わりに月例給

**おたより ありがとう**

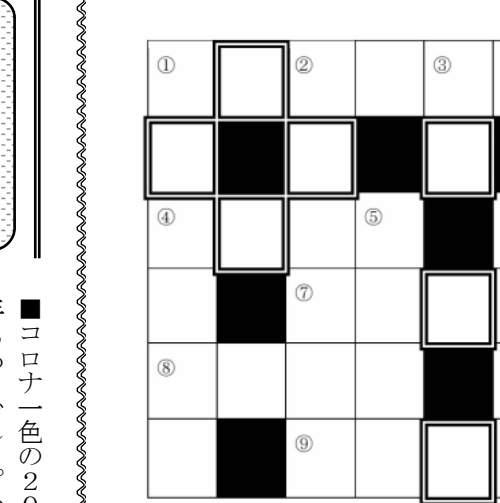
■愛媛でも連日のコロナ感染者。今年は息子の高校受験で、無事に入試が行われるのか不安ですが、家族みんなで受験を乗り切りたいです！ (伊予・上本)

■毎日コロナのニュースで憂鬱です。職場が高齢者の利用者施設なので緊張しながら仕事しています。早く収束を願います。(新居浜社協・久保田)

■コロナ一色の2020年もあと少し。少しでも明るい新年となるよう、初詣へ出かけようと思っております。ただし、分散して。(今治・白石)

■今年はコロナの影響で、旅行も外食も控えたはずなのに、なぜかお金は一向に貯まってない。どこに消えているのか。謎です。(新居浜・前田)

■525号のバズルの回答は「あおりうんてん」でしたが、先日自分も煽り運転の現場を目撃しました。被害の無い場所です。(西予・山下)



出題者 堀川孝行

【ヨコのカギ】  
①よく中年男性が口にする冗談、しゃれ  
④「アマーパログ」の略称  
⑦つけこむ。〇〇〇〇隙を与えない  
⑧役に立つ。有用。社会に〇〇〇〇人材  
⑨のこぎりの一種。うすくて細い刃が特徴

【タテのカギ】  
①祖母の呼び方の一つ  
②実物と同じ大きさ。原寸大  
③その手は桑名の〇〇はまぐり  
⑤写真や記念の品などをに入れて身につける金属製の小さい容器  
⑥金箱。利益をもたらす人や商品。

「〇〇〇〇スター」

■525号のバズルの答えは「アオリウンテン」(煽り運転)でした。正解は10通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。(敬称略)

向井 裕子(伊予)  
久保田 敬子(新居浜社協)  
篠原 紀代(伊予)  
越智 紀幸(今治一般)  
岡本 文英(伊予)

【応募方法】バズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

【送り先】自治労連愛媛 県本部バズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載

【締切り】1月27日【発表】529号(2月号)

を引き下げていて今年の人勤によるマイナス改定の影響が心配される」などの発言もありました。感染防止対策などで組合活動が十分できず、来年度の新規採用職員の組合加入について「今年度よりスピード感をもって早めに対応したい」などの報告がありました。また、本部医療部会の山本幹事から「看護師対象アンケート」への協力などの提案「代休・振休の違い」についての学習会の要望も出されました。